

しなののうた

初詣の帰路に買いくる濁り酒
わが手捻りのぐいのみに満つ



杉田小百合

しなののうた

栄村のふるさと太鼓が新年を寿ぎて鳴る天高く鳴る

杉田小百合



しなののうた

子ども等の打てる太鼓の跳ね上がり
額の汗の眩しかりしよ



杉田小百合

しなののうた

裸木に雪を蹴散らす小鳥らのしじまを破る音の明るし

杉田小百合



しなののうた

硝子戸にへばりつきたる蠅のいて
我の蟄居に似たるのおかし

l.MI

杉田小百合